

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【公表番号】特表2019-516392(P2019-516392A)

【公表日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2018-567013(P2018-567013)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2015.01)

A 6 1 K 35/54 (2015.01)

A 6 1 K 35/28 (2015.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/13 Z N A

C 1 2 N 15/63 Z

C 0 7 K 16/28

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 38/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 35/54

A 6 1 K 35/28

G 0 1 N 33/53 D

C 1 2 N 1/15
C 1 2 N 1/19
C 1 2 N 1/21

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

相補性決定領域(CDR)HCDR1、HCDR2、HCDR3、LCDR1、LCDR2、及びLCDR3を含む、抗免疫グロブリン様転写物7(ILT7)抗体であって、前記HCDR1、HCDR2、HCDR3、LCDR1、LCDR2、及びLCDR3がそれぞれ配列番号203、204、205、208、209、及び210のアミノ配列を含む、前記抗体。

【請求項2】

重鎖可変領域(VH)及び軽鎖可変領域(VL)を含み、前記VH及びVL領域がそれぞれ配列番号202及び配列番号207と少なくとも95%同一であるアミノ酸配列を含む、請求項1記載の抗ILT7抗体。

【請求項3】

前記VH及びVL領域がそれぞれ配列番号202及び配列番号207のアミノ酸配列を含む、請求項2記載の抗ILT7抗体。

【請求項4】

IgA定常ドメイン、IgE定常ドメイン、IgG1定常ドメイン、IgG2定常ドメイン、IgG3定常ドメイン、IgG4定常ドメイン、及びIgM定常ドメインからなる群より選択される重鎖免疫グロブリン定常ドメインを含む、請求項1～3のいずれか一項記載の抗ILT7抗体。

【請求項5】

IgG1定常ドメインを含む、請求項4記載の抗ILT7抗体。

【請求項6】

Ig kappa定常ドメイン及びIg lambda定常ドメインからなる群より選択される軽鎖免疫グロブリン定常ドメインを含む、請求項1～5のいずれか一項記載の抗ILT7抗体。

【請求項7】

ラムダ定常ドメインを含む、請求項6記載の抗ILT7抗体。

【請求項8】

モノクローナル抗体である、請求項1～7のいずれか一項記載の抗ILT7抗体。

【請求項9】

マウス、ヒト、キメラ、ヒト化、又は表面再構成抗体である、請求項1～8のいずれか一項記載の抗ILT7抗体。

【請求項10】

ヒト抗体である、請求項9記載の抗ILT7抗体。

【請求項11】

低フコース化されている、請求項1～10のいずれか一項記載の抗ILT7抗体。

【請求項12】

ヒト及びカニクイザルILT7に特異的に結合する、請求項1～11のいずれか一項記載の抗ILT7抗体。

【請求項13】

- i) 相補性決定領域(CDR)HCDR1、HCDR2、HCDR3、LCDR1、LCDR2、及びLCDR3、
- ii) ヒトIgG1定常ドメイン、並びに

iii) ヒトラムダ定常ドメイン

を含む、低フコース化ヒトモノクローナル抗ILT7抗体であって、

前記HCDR1、HCDR2、HCDR3、LCDR1、LCDR2、及びLCDR3がそれぞれ配列番号203、204、205、208、209、及び210のアミノ配列を含む、前記抗体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

一例において、本明細書において、ヒト対象における自己免疫疾患を防止(予防)する方法であって、本明細書に提供されるILT7結合分子、本明細書に提供されるポリヌクレオチド、本明細書に提供されるベクター、本明細書に提供されるポリペプチド、本明細書に提供される宿主細胞、又は本明細書に提供される医薬組成物の有効量を対象に投与することを含む方法が提供される。一例において、自己免疫疾患は、全身性紅斑性狼瘡である。一例において、自己免疫疾患は、慢性リウマチである。

本発明はまた、以下に関する。

[項目1]

配列番号202の重鎖可変領域(VH)及び配列番号207の軽鎖可変領域(VL)を含む抗体と同じILT7エピトープに結合することができる、単離されたILT7結合タンパク質。

[項目2]

配列番号202のVH及び配列番号207のVLを含む抗体のILT7に対する結合を競合的に阻害する、単離されたILT7結合タンパク質。

[項目3]

配列番号203、204、205、208、209、及び210の配列をそれぞれ含む、相補性決定領域(CDR)HCDR1、HCDR2、HCDR3、LCDR1、LCDR2、及びLCDR3を含む、単離されたILT7結合タンパク質。

[項目4]

配列番号202と少なくとも85%、90%、95%、96%、97%、98%、若しくは99%同一であるVH及び/又は配列番号207と少なくとも85%、90%、95%、96%、97%、98%若しくは99%同一であるVLを含む、項目1～3のいずれか1項記載の単離されたILT7結合タンパク質。

[項目5]

配列番号202を含むVH及び配列番号207を含むVLを含む、項目4記載の単離されたILT7結合タンパク質。

[項目6]

配列番号202を含むVHを含む、単離されたILT7結合タンパク質。

[項目7]

配列番号207を含むVLを含む、単離されたILT7結合タンパク質。

[項目8]

それぞれ配列番号12及び配列番号17、

それぞれ配列番号22及び配列番号27、

それぞれ配列番号32及び配列番号37、

それぞれ配列番号42及び配列番号47、

それぞれ配列番号52及び配列番号57、

それぞれ配列番号62及び配列番号67、

それぞれ配列番号72及び配列番号77、

それぞれ配列番号82及び配列番号87、

それぞれ配列番号92及び配列番号97、

それぞれ配列番号102及び配列番号107、

それぞれ配列番号112及び配列番号117、

それぞれ配列番号122及び配列番号127、
それぞれ配列番号132及び配列番号137、
それぞれ配列番号142及び配列番号147、
それぞれ配列番号152及び配列番号157、
それぞれ配列番号162及び配列番号167、
それぞれ配列番号172及び配列番号177、
それぞれ配列番号182及び配列番号187、
それぞれ配列番号192及び配列番号197、
それぞれ配列番号212及び配列番号217、
それぞれ配列番号222及び配列番号227、
それぞれ配列番号232及び配列番号237、並びに
それぞれ配列番号242及び配列番号247
から成る群より選択されるVH及びVLを含む抗体と同じILT7エピトープに結合することができる、単離されたILT7結合タンパク質。

[項目 9]

それぞれ配列番号12及び配列番号17、
それぞれ配列番号22及び配列番号27、
それぞれ配列番号32及び配列番号37、
それぞれ配列番号42及び配列番号47、
それぞれ配列番号52及び配列番号57、
それぞれ配列番号62及び配列番号67、
それぞれ配列番号72及び配列番号77、
それぞれ配列番号82及び配列番号87、
それぞれ配列番号92及び配列番号97、
それぞれ配列番号102及び配列番号107、
それぞれ配列番号112及び配列番号117、
それぞれ配列番号122及び配列番号127、
それぞれ配列番号132及び配列番号137、
それぞれ配列番号142及び配列番号147、
それぞれ配列番号152及び配列番号157、
それぞれ配列番号162及び配列番号167、
それぞれ配列番号172及び配列番号177、
それぞれ配列番号182及び配列番号187、
それぞれ配列番号192及び配列番号197、
それぞれ配列番号212及び配列番号217、
それぞれ配列番号222及び配列番号227、
それぞれ配列番号232及び配列番号237、並びに
それぞれ配列番号242及び配列番号247
から成る群より選択されるVH及びVLを含む抗体のILT7に対する結合を競合的に阻害する、単離されたILT7結合分子。

[項目 10]

それぞれ配列番号13、14、15、18、19、及び20、
それぞれ配列番号23、24、25、28、29、及び30、
それぞれ配列番号33、34、35、38、39、及び40、
それぞれ配列番号103、104、105、108、109、及び110、
それぞれ配列番号213、214、215、218、219、及び220、
それぞれ配列番号223、224、225、228、229、及び230、
それぞれ配列番号233、234、235、238、239、及び240、並びに
それぞれ配列番号243、244、245、248、249、及び250
から成る群より選択される、CDR: HCDR1、HCDR2、HCDR3、LCDR1、LCDR2、及びLCDR3を含

む、単離されたILT7結合分子。

[項目 1 1]

それぞれ配列番号12及び配列番号17、
それぞれ配列番号22及び配列番号27、
それぞれ配列番号32及び配列番号37、
それぞれ配列番号42及び配列番号47、
それぞれ配列番号52及び配列番号57、
それぞれ配列番号62及び配列番号67、
それぞれ配列番号72及び配列番号77、
それぞれ配列番号82及び配列番号87、
それぞれ配列番号92及び配列番号97、
それぞれ配列番号102及び配列番号107、
それぞれ配列番号112及び配列番号117、
それぞれ配列番号122及び配列番号127、
それぞれ配列番号132及び配列番号137、
それぞれ配列番号142及び配列番号147、
それぞれ配列番号152及び配列番号157、
それぞれ配列番号162及び配列番号167、
それぞれ配列番号172及び配列番号177、
それぞれ配列番号182及び配列番号187、
それぞれ配列番号192及び配列番号197、
それぞれ配列番号212及び配列番号217、
それぞれ配列番号222及び配列番号227、
それぞれ配列番号232及び配列番号237、又は
それぞれ配列番号242及び配列番号247

と少なくとも85%、90%、95%、96%、97%、98%、若しくは99%同一であるVH及びVLを含む、
項目 8 ~ 1 0 のいずれか 1 項記載の単離されたILT7結合タンパク質。

[項目 1 2]

前記VH及びVLが、
それぞれ配列番号12及び配列番号17、
それぞれ配列番号22及び配列番号27、
それぞれ配列番号32及び配列番号37、
それぞれ配列番号42及び配列番号47、
それぞれ配列番号52及び配列番号57、
それぞれ配列番号62及び配列番号67、
それぞれ配列番号72及び配列番号77、
それぞれ配列番号82及び配列番号87、
それぞれ配列番号92及び配列番号97、
それぞれ配列番号102及び配列番号107、
それぞれ配列番号112及び配列番号117、
それぞれ配列番号122及び配列番号127、
それぞれ配列番号132及び配列番号137、
それぞれ配列番号142及び配列番号147、
それぞれ配列番号152及び配列番号157、
それぞれ配列番号162及び配列番号167、
それぞれ配列番号172及び配列番号177、
それぞれ配列番号182及び配列番号187、
それぞれ配列番号192及び配列番号197、
それぞれ配列番号212及び配列番号217、
それぞれ配列番号222及び配列番号227、

それぞれ配列番号232及び配列番号237、又は
それぞれ配列番号242及び配列番号247
を含む、項目11記載のILT7結合分子。

[項目13]

配列番号12、22、32、42、52、62、72、82、92、102、112、122、132、142、152、162
、172、182、192、212、222、232、又は242を含むVHを含む、単離されたILT7結合分子。

[項目14]

配列番号17、27、37、47、57、67、77、87、97、107、117、127、137、147、157、167
、177、187、197、217、227、237、又は247を含むVLを含む、単離されたILT7結合分子。

[項目15]

抗体又はその抗原結合断片を含む、項目1～14のいずれか1項記載の単離されたILT7
結合分子。

[項目16]

抗体又はその抗原結合断片が低フコース化されている、項目15記載の単離されたILT7
結合分子。

[項目17]

ILT7のIg1領域に結合する、項目8～16のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分
子。

[項目18]

ILT7のIg2領域に結合する、項目8～16のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分
子。

[項目19]

ヒト及びカニクイザルILT7に結合する、項目1～18のいずれか1項記載の単離された
ILT7結合分子。

[項目20]

末梢血単核球細胞(PBMC)からのインターフェロン(IFN)アルファ放出を抑制する、項目
1～19のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分子。

[項目21]

PBMCにおける形質細胞様樹状細胞(pDC)に対するADCC活性を有する、項目1～20のい
ずれか1項記載の単離されたILT7結合分子。

[項目22]

マウス、ヒト、キメラ、ヒト化、又は表面再形成(resurfaced)抗体又はその抗原結合断
片を含む、項目1～21のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分子。

[項目23]

抗体、Fab、Fab'、F(ab')₂、Fd、一本鎖Fv若しくはscFv、ジスルフィド結合Fv、V-NAR
ドメイン、IgNar、イントラボディ、IgG₁CH₂、ミニボディ、F(ab')₃、テトラボディ、ト
リアボディ、ダイアボディ、シングルドメイン抗体、DVD-Ig、Fcab、mAb₂、(scFv)₂、又
はscFv-Fcを含む、項目1～22のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分子。

[項目24]

モノクローナル抗体又はその抗原結合断片を含む、項目1～23のいずれか1項記載の
単離されたILT7結合分子。

[項目25]

(a) IgA定常ドメイン、

(b) IgD定常ドメイン、

(c) IgE定常ドメイン、

(d) IgG1定常ドメイン、

(e) IgG2定常ドメイン、

(f) IgG3定常ドメイン、

(g) IgG4定常ドメイン、及び

(h) IgM定常ドメイン

から成る群より選択される重鎖免疫グロブリン定常ドメインを含む、項目1～24のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分子。

[項目26]

(a) Igカッパ定常ドメイン、及び

(b) Igラムダ定常ドメイン

から成る群より選択される軽鎖免疫グロブリン定常ドメインを含む、項目1～25のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分子。

[項目27]

ヒトIgG1定常ドメイン及びヒトラムダ定常ドメインを含む、項目1～26のいずれか1項記載の単離されたILT7結合分子。

[項目28]

項目1～27のいずれか1項記載の結合分子を産生する単離された宿主細胞。

[項目29]

VHをコードする核酸を含む単離されたポリヌクレオチドであって、VHが、配列番号202、12、22、32、42、52、62、72、82、92、102、112、122、132、142、152、162、172、182、192、212、222、232、又は242のVHと少なくとも85%、90%、95%同一であるか、又は同一であるアミノ酸配列を含む、前記単離されたポリヌクレオチド。

[項目30]

配列番号201、11、21、31、41、51、61、71、81、91、101、111、121、131、141、151、161、171、181、191、211、221、231、又は241と少なくとも85%、90%、95%同一であるか、又は同一である配列を含む、項目29記載のポリヌクレオチド。

[項目31]

VLをコードする核酸を含む単離されたポリヌクレオチドであって、VLが、配列番号207、17、27、47、57、67、77、87、97、107、117、127、137、147、157、167、177、187、197、217、227、237、又は247のVLと少なくとも85%、90%、95%同一であるか、又は同一であるアミノ酸配列を含む、前記単離されたポリヌクレオチド。

[項目32]

配列番号206、16、26、36、46、56、66、76、86、96、106、116、126、136、146、156、166、176、186、196、216、226、236、又は246と少なくとも85%、90%、95%同一であるか、又は同一である配列を含む、項目31記載のポリヌクレオチド。

[項目33]

核酸が制御配列に作動可能に連結されている、項目29～32のいずれか1項記載のポリヌクレオチド。

[項目34]

前記VH又は前記VLを含む抗体又はその抗原結合断片が、ILT7に特異的に結合することができる、項目29～33のいずれか1項記載のポリヌクレオチド。

[項目35]

項目1～27のいずれか1項記載のILT7結合分子をコードするポリヌクレオチド。

[項目36]

項目29～35のいずれか1項記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

[項目37]

項目29～35のいずれか1項記載のポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチド。

[項目38]

項目29又は30記載のポリヌクレオチド及び項目31又は32記載のポリヌクレオチドによって形質転換された宿主細胞。

[項目39]

項目29～35のいずれか1項記載のポリヌクレオチド、項目36記載のベクター、又は項目37記載のポリペプチドを含む宿主細胞。

[項目40]

哺乳動物宿主細胞である、項目 3 8 又は 3 9 記載の宿主細胞。

[項目 4 1]

NS0マウス骨髄腫細胞、PER.C6(登録商標)ヒト細胞、又はチャイニーズハムスター卵巣(CHO)細胞である、項目 4 0 記載の哺乳動物宿主細胞。

[項目 4 2]

酵素 -1,6-フコシルトランスフェラーゼを欠如する、項目 3 8 ~ 4 1 のいずれか 1 項記載の宿主細胞。

[項目 4 3]

抗ILT7結合分子を産生する方法であって、項目 3 8 ~ 4 2 のいずれか 1 項記載の宿主細胞を培養すること、及び前記結合分子を回収することを含む、前記方法。

[項目 4 4]

項目 4 3 記載の方法によって産生される抗ILT7結合分子。

[項目 4 5]

試料中のILT7発現を検出する方法であって、(a)前記試料に、項目 1 ~ 2 7 又は 4 4 のいずれか 1 項記載のILT7結合分子と接触させること、及び(b)前記試料中の前記結合分子の結合を検出することを含む、前記方法。

[項目 4 6]

形質細胞様樹状細胞を検出する方法であって、(a)細胞を含有する試料に、項目 1 ~ 2 7 又は 4 4 のいずれか 1 項記載のILT7結合分子を接触させること、及び(b)前記試料中の前記結合分子の結合を検出することを含む、前記方法。

[項目 4 7]

(a)項目 1 ~ 2 7 若しくは 4 4 のいずれか 1 項記載のILT7結合分子、項目 2 9 ~ 3 5 のいずれか 1 項記載のポリヌクレオチド、項目 3 6 記載のベクター、項目 3 7 記載のポリペプチド、又は項目 2 8 若しくは 3 8 ~ 4 2 のいずれか 1 項記載の宿主細胞、及び(b)担体を含む、医薬組成物。

[項目 4 8]

形質細胞様樹状細胞からのIFN-アルファ放出を減少させる方法であって、形質細胞様樹状細胞に、項目 1 ~ 2 7 若しくは 4 4 のいずれか 1 項記載の結合分子、項目 2 9 ~ 3 5 のいずれか 1 項記載のポリヌクレオチド、項目 3 6 記載のベクター、項目 3 7 記載のポリペプチド、項目 2 8 若しくは 3 8 ~ 4 2 のいずれか 1 項記載の宿主細胞、又は項目 4 7 記載の組成物を接触させることを含む、前記方法。

[項目 4 9]

自己免疫疾患を有するヒト対象を処置する方法であって、項目 1 ~ 2 7 若しくは 4 4 のいずれか 1 項記載の結合分子、項目 2 9 ~ 3 5 のいずれか 1 項記載のポリヌクレオチド、項目 3 6 記載のベクター、項目 3 7 記載のポリペプチド、項目 2 8 若しくは 3 8 ~ 4 2 のいずれか 1 項記載の宿主細胞、又は項目 4 7 記載の組成物の有効量を対象に投与することを含む、前記方法。

[項目 5 0]

ヒト対象における自己免疫疾患を防止する方法であって、項目 1 ~ 2 7 若しくは 4 4 のいずれか 1 項記載の結合分子、項目 2 9 ~ 3 5 のいずれか 1 項記載のポリヌクレオチド、項目 3 6 記載のベクター、項目 3 7 記載のポリペプチド、項目 2 8 若しくは 3 8 ~ 4 2 のいずれか 1 項記載の宿主細胞、又は項目 4 7 記載の組成物の有効量を対象に投与することを含む、前記方法。

[項目 5 1]

前記自己免疫疾患が全身性紅斑性狼瘡である、項目 4 9 又は 5 0 記載の方法。

[項目 5 2]

前記自己免疫疾患が慢性リウマチである、項目 4 9 又は 5 0 記載の方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2019516392A5	公开(公告)日	2020-04-16
申请号	JP2018567013	申请日	2017-03-09
发明人	ヴァウステン, キャサリン アン ダウスウェイト, ジュリー アン ダムシュローダー, メリッサ マリー サンファン, ミゲル エンジェル		
IPC分类号	C12N15/13 C12N15/63 C07K16/28 C12N5/10 C12P21/08 A61P43/00 A61P37/02 A61P29/00 A61P19/02 A61K38/02 A61K45/00 A61K39/395 A61K48/00 A61K35/12 A61K35/54 A61K35/28 G01N33/53 C12N11/15 C12N1/19 C12N1/21		
CPC分类号	A61K2039/505 A61P19/02 A61P29/00 C07K16/2803 C07K2317/21 C07K2317/24 C07K2317/30 C07K2317/41 C07K2317/52 C07K2317/622 C07K2317/732 C07K2317/92 C07K2319/00 A61P37/00		
FI分类号	C12N15/13.ZNA C12N15/63.Z C07K16/28 C12N5/10 C12P21/08 A61P43/00.111 A61P37/02 A61P29/00.101 A61P19/02 A61P29/00 A61K38/02 A61K45/00 A61K39/395.D A61K39/395.N A61K39/395.U A61K48/00 A61K35/12 A61K35/54 A61K35/28 G01N33/53.D C12N11/15 C12N1/19 C12N1/21		
F-TERM分类号	4B064/AG27 4B064/CA19 4B064/DA01 4B065/AA01X 4B065/AA57X 4B065/AA72X 4B065/AA90X 4B065/AB01 4B065/BA02 4B065/CA25 4B065/CA44 4C084/AA02 4C084/AA13 4C084/AA17 4C084/BA03 4C084/NA14 4C084/ZA961 4C084/ZA962 4C084/ZB071 4C084/ZB072 4C084/ZB111 4C084/ZB112 4C084/ZB151 4C084/ZB152 4C084/ZC411 4C084/ZC412 4C085/AA13 4C085/AA14 4C085/AA16 4C085/AA19 4C085/BB33 4C085/BB34 4C085/BB35 4C085/BB36 4C085/BB37 4C085/BB41 4C085/BB43 4C085/BB44 4C085/CC22 4C085/CC23 4C085/EE01 4C085/EE05 4C085/GG01 4C087/AA01 4C087/AA02 4C087/BB33 4C087/BB44 4C087/BB61 4C087/NA14 4C087/ZA96 4C087/ZB07 4C087/ZB11 4C087/ZB15 4C087/ZC41 4H045/AA11 4H045/AA20 4H045/AA30 4H045/BA10 4H045/BA41 4H045/DA76 4H045/EA20 4H045/FA72 4H045/FA74		
优先权	62/306125 2016-03-10 US		
其他公开文献	JP2019516392A		

摘要(译)

本发明涉及ILT7结合分子，例如抗ILT7抗体，以及治疗或预防与ILT7表达细胞相关的病症和疾病的方法，例如自身免疫疾病。[选型图]图1A

それぞれ配列番号122及び配列番号127、
 それぞれ配列番号132及び配列番号137、
 それぞれ配列番号142及び配列番号147、
 それぞれ配列番号152及び配列番号157、
 それぞれ配列番号162及び配列番号167、
 それぞれ配列番号172及び配列番号177、
 それぞれ配列番号182及び配列番号187、
 それぞれ配列番号192及び配列番号197、
 それぞれ配列番号212及び配列番号217、
 それぞれ配列番号222及び配列番号227、
 それぞれ配列番号232及び配列番号237、並びに
 それぞれ配列番号242及び配列番号247
 から成る群より選択されるVH及びVLを含む抗体と同一ILT7エピトープに結合することによって、
 阻害されたILT7結合分子である。
 [項目9]
 それぞれ配列番号12及び配列番号17、
 それぞれ配列番号22及び配列番号27、
 それぞれ配列番号32及び配列番号37、
 それぞれ配列番号42及び配列番号47、
 それぞれ配列番号52及び配列番号57、
 それぞれ配列番号62及び配列番号67、
 それぞれ配列番号72及び配列番号77、
 それぞれ配列番号82及び配列番号87、
 それぞれ配列番号92及び配列番号97、
 それぞれ配列番号102及び配列番号107、
 それぞれ配列番号112及び配列番号117、
 それぞれ配列番号122及び配列番号127、
 それぞれ配列番号132及び配列番号137、
 それぞれ配列番号142及び配列番号147、
 それぞれ配列番号152及び配列番号157、
 それぞれ配列番号162及び配列番号167、
 それぞれ配列番号172及び配列番号177、
 それぞれ配列番号182及び配列番号187、
 それぞれ配列番号192及び配列番号197、
 それぞれ配列番号212及び配列番号217、
 それぞれ配列番号222及び配列番号227、
 それぞれ配列番号232及び配列番号237、並びに
 それぞれ配列番号242及び配列番号247
 から成る群より選択されるVH及びVLを含む抗体のILT7に対する結合を競合的に阻害する、
 阻害されたILT7結合分子である。
 [項目10]
 それぞれ配列番号13、14、15、18、19、及び20、
 それぞれ配列番号23、24、25、28、29、及び30、
 それぞれ配列番号33、34、35、38、39、及び40、
 それぞれ配列番号103、104、105、108、109、及び110、
 それぞれ配列番号213、214、215、218、219、及び220、
 それぞれ配列番号223、224、225、228、229、及び230、
 それぞれ配列番号233、234、235、238、239、及び240、並びに
 それぞれ配列番号243、244、245、248、249、及び250
 から成る群より選択される、CDR1、HCDR1、HCDR2、HCDR3、LCDR1、LCDR2、及びLCDR3を含む